

第4回新庄川橋架替事業設計施工検討委員会

令和8年3月26日(木)10:00~11:30
富山県防災危機管理センター 2F 中会議室

<結果 (議事概要) >

- これまでの見直し検討により、上部工形式は7径間連続鋼箱桁橋、基礎形式は場所打ち杭基礎、仮設工法は瀬替え工法が妥当である。
- 既設橋撤去時の仮設工法として、瀬替え工法が妥当である。

●委員からの主な意見は以下のとおり

- 既設橋撤去時の振動が新設橋梁に影響が出ないかどうか、必要に応じてモニタリングを実施すること。
- 上部工に拡幅部がある場合や送り出し工法を採用する場合で、かつ桁高を変化させるときは、設計・施工ともに注意が必要である。
- ライフサイクルマネジメントを考慮のうえ、既設橋の維持管理に努めること。